

令和6年能登半島地震を教訓に 消防団員300人が大震災に備えた研修訓練を実施します

今年1月に発生した令和6年能登半島地震では、消防団の地域での重要性が改めて認識されました。このことから、岡山市消防団協力事業所や消防団充実強化アドバイザー等の講師の協力のもと、大震災に備えた研修訓練を実施します。

1 日時

令和6年7月28日(日) 1部:14時～15時 2部:15時30分～17時

※ 雨天時、1部は実施、2部は状況に応じて実施します。(当日9時までに決定)

2 場所

1部:岡山ふれあいセンター(中区桑野)

2部:岡山市消防教育訓練センター(中区桑野)

3 内容

・当日は、市内99分団からおよそ300人が参加し、2部構成で開催します。

1部:震災対応に関する講義(講師:消防団充実強化アドバイザー)

2部:3ブースで研修訓練を実施

①消防団協力事業所に関する研修及び展示訓練(協力:有限会社光南台土建)

※事業所の協力のもと、大型の重機等による展示訓練を実施します。なお、消防団協力事業所と連携した訓練は、本市では初めての実施です。

②救助活動訓練(講師:本市特別高度救助隊員)

③応急救護訓練(講師:本市消防団員「応急手当普及員有資格者」)



1部:講義風景(イメージ)



2部:訓練参加予定車両(別紙あり)

4 その他

- ・当日は、13時45分までに岡山ふれあいセンターの会場受付へお越してください。駐車場は、岡山ふれあいセンターの駐車場をご利用ください。
- ・「消防団協力事業所表示制度」とは、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とする制度です。岡山市では、現在(令和6年7月1日時点)、118事業所が認定されています。
- ・「消防団充実強化アドバイザー」とは、全国からの推薦を受け、消防団員の確保推進等に必要な豊富な知識又は経験を有する人を総務省消防庁が認定している制度です。

【問い合わせ先】

岡山市消防局 消防企画総務課 日下・原 直通086-234-9973 内線3771